

# 公 民 [ 倫 理 ] ( 100 点 50 分 )

2006 年 12 月 13 日 ( 水 ) 2 限実施

千葉県立千葉東高等学校 第 3 学年 1,2,3,4 組対象

Created by K.Kataoka

## 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

学年，組，名前を記入する。

学年，組の該当個所をマークする。

出席番号をマークする。(10 番以上は 10 の位と 1 の位の 2 カ所)

男女の欄をマークする。

1.2.3 枚目のところはマークしない。

停・欠・遅・早のところはマークしない。

機械の読みとりミスの確認のため、解答欄はマークの左側に番号を記入しておく。

なおマークと数字の記入が異なる場合はマークを優先して採点します。

以上が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。
- 5 以下の通り冬季片岡ゼミを実施します。希望者は申し込みしてください。

12 月 26 日 ( 火 ) ~ 12 月 30 日 ( 土 ) 8 : 30 ~ 10 : 00 西洋近現代思想講義
--

# 倫 理

( 解答番号 [ 1 ] ~ [ 50 ] )

第 1 問 次の文章を読み下の問い ( 問 1 ~ 問 5 ) に答えよ。( 配点 18 )

江戸時代の中期以後、町人階級の中から、庶民生活の実際に合った思想が説かれるようになった。享保年代の、その著作 [ 1 ] で知られる商人石田梅岩の思想がそれである。

梅岩は「正直」と「儉約」を説き、とくに「正直」を重んじた。「我が物は我が物、人の物は人の物、貸したるものはうけとり、借りたる物は返し、毛すじほども私なく、ありべかかりに (あるべきように) するは正直なる所也」と彼はいう。彼はさらに、この正直の徳が、(a) 土農工商すべての人の生まれながらの自然な心に通じると 説いて 町人の立場を弁護するとともに、そこに普遍的な倫理が つらぬいて いると主張したのである。

江戸時代の後半にはまた、農民の立場に立つ思想家があらわれた。東北の農村の医師であった安藤昌益は、(b) 自然真営道とよぶ独創的な思想 を説いた。それは、自然の運行とともに生きる農民の生活に人間の理想を見いだす考え方である。その理想の状態は [ 2 ] とよばれる。それは、自分の手で土を耕し、自分の力で生活を守る「直耕」の生活である。人間社会は元来そのような状態から生まれたものであるが、支配者があらわれて人為的な制度をつくってから、貧富の差が生まれてきたという。昌益の思想は、農民の立場に立って、武士や町人を批判する農本主義であるといえよう。それは、西洋近代において、「自然に帰れ」と説き、文明の発達が人間社会の不平等を生みだしたとするルソーの思想と似たところがある。

小田原の農家の出身である二宮尊徳は、独自の思想をもった農政家として、農業の改革や諸藩の財政再建を行った。

彼は、[ 3 ] を理想とした。自然の力を示す天道は、作物を成長させる恵みの力をもつ反面、洪水や早魃のように人間に苦しみを与えることもある。人間の努力をあらわす人道は、天道によりながら、それをおぎなうのである。人道とは、勤 ( 勤勉 ) ・ 儉 ( 儉約 ) ・ 讓 ( 社会福祉、投資 ) である。

勤勉と儉約を重んじる彼の考え方は、西洋近代にあらわれたプロテスタントの職業倫理に通じるところがある。

問 1 文中の [ 1 ] ~ [ 3 ] に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つずつ選べ。

[ 1 ] 童子問                      翁問答                      翁の文                      都鄙問答

[ 2 ] 自然状態                      法 世                      自然世                      社会状態

[ 3 ] 人道の天道への従属                      天道の人道への従属  
天道と人道の分離                      天道と人道の調和

問2 下線部(a)に関連して、石田梅岩の身分観として**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[4]

商人の売利は土の禄に同じ

土農工商ともに天の一物なり

商人皆農工とならば、財宝を通ず者なくして万民の難儀とならん

門閥制度は親の仇でござる

問3 下線部(b)に関連して、安藤昌益の思想の説明として**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[5]

相補的存在である万物の相互作用としての互性活真こそが自然の真の営みである。

不耕貪食の徒による農民統治は天地の本道にかなった自然の道である。

仏教・儒教・神道の教えも自然の秩序に反するものである。

土は万物の根源であり、その土を耕す農民こそ土活真の真理を体現した存在である。

問4 町人思想家、富永仲基の考えについての説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[6]

仏教や迷信、さらに靈魂の存在を否定した。

大乘仏教の仏典を釈迦の教えではないとした。

自然の条理をたずねる方法として反観合一をとらえた。

神・儒・仏、打って一丸した心学をとらえた。

問5 幕末の思想家、佐久間象山、横井小楠、吉田松陰の思想を説明する記述として最も適当なものを、次の ~ のうちからそれぞれ一つ選べ。佐久間象山については[7]に、横井小楠は[8]に、吉田松陰は[9]に解答すること。

藩ごとに分裂した幕藩体制の枠を超えて、天下万民の主君である天皇にすべての民衆が集結し、「誠」をもって忠を尽くすべきである。

日本の朱子学的道徳秩序を守りながら、西洋の砲術や艦船などの技術を積極的に摂取すべきである。

アジアは一つである。ヒマラヤ山脈は二つの強大な文明、すなわち孔子の共同社会主義をもつ中国文明と、ヴェーダの個人主義をもつインド文明とをただ強調するためにのみ分けている。

日本は東洋の徳ある文明をもとに、そこに西洋の科学文明を取り入れるべきであり、議会制の国家を作るべきである。

第2問 次の文章を読み下の問い(問1～問14)に答えよ。(配点32)

幕末に欧米の軍事的圧力によって国を開いた日本は、維新後ただちに文明開化の運動をおこした。(a)福沢諭吉はこの運動の推進者であった。

福沢の推進した (b)文明開化運動は、国を開いて西洋の道徳を受け入れる、つまり一は [ 10 ] をすすめて国会を開き、一は物質的欲望を解放して資本主義産業をおこし、これによって社会の元気を振起し、精神を活発にして、国家的精神を強め、国家の独立を達成し、西洋列強と対等の地位にたつて、交わるべくば交わり、絶つべくば絶つ大攘夷を行う。要は国家の独立が目的で、開国は手段であるという愛国の運動であった。(c)自由民権運動もこの延長にくるものといってよい。

こうした運動の進行する間に、この運動によって国家の政治的・経済的独立を達成しても、国家と民族の個性を喪失し、国民は分裂して国民的団結を失うおそれがあるという考えがおこってきた。おりしも自主愛国のヨーロッパの近代倫理と(d)孝親忠君の日本の封建道徳の対決が、夫婦同等の妻妾論を唱えた文部大臣 [ 11 ] の暗殺を引き起こした。ここに至って日本と西洋の短所を捨て長所をとって結合し、世界に冠たる「新日本」の文明を建設しようという楽天的な (e)「国粹保存」の思想と運動が生まれてきた。明治30年代に入ると、封建遺制の良風民俗であるイエを近代国家の基礎に据え直し、そのうえに民主主義の政治機構と資本主義の経済機構を上乗せした二重構造の国家が構築された。明治40年代に入ると、この上下両層、「忠君」「愛国」の両倫理の結合(縫合)は癒着にまでもたらされて、(f)「日本の近代」国家と「忠君愛国」の国民道徳が完成した。

この間に、二重構造を上下に貫く家制国家主義の人間と、上部構造から反体制的な個人主義の人間と社会主義の人間が生まれてきた。彼らは明治20年代には、(g)国民主義、浪漫主義、平民主義を唱え、(h)明治30年代には国家主義、個人主義、社会主義、明治40年代には家制国家主義、自然主義、無政府主義を主張した。

大正時代には第一次世界大戦によって欧米の圧力が弱まり、国家の上部構造は繁栄して、家制国家主義は (i)大正デモクラシー、自然主義は大正リベラリズム、無政府主義はマルキシズムとなって、世界と国民大衆に向かって開かれた政治と思想がおこってきた。

やがて昭和に入ってふたたび外圧が強まり、戦争の続く時代になると、明治国家の体制とその理念が復活し、天皇への忠誠、国家への奉公が熱狂的に鼓吹されるようになった。

問1 文中の [ 10 ] に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。  
廃仏毀釈            個人の独立            尊皇攘夷            地租改正

問2 文中の [ 11 ] に入れるのに最も適当な人名を、次の ~ のうちから一つ選べ。  
伊藤博文            津田真道            森 有礼            井上 毅

問3 下線部(a)に関して福沢諭吉が西洋近代の平等思想を受容したものとして最も適当なものを、下の ~ のうちから一つ選べ。[ 12 ](1996年センター追試験より)

- |           |          |
|-----------|----------|
| 自然権の思想    | 社会主義の思想  |
| ドイツ観念論の思想 | 大陸合理論の思想 |

問4 下線部(b)に関連して、日本の啓蒙思想をリードした明六社の中村正直と加藤弘之の思想を説明したものとして最も適当なものを、下の ~ のうちから一つずつ選べ。中村正直については[ 13 ]に加藤弘之については[ 14 ]に答えよ。

コントの実証主義に影響を受け、法学、経済学を修めて日本で最初の近代法学書『泰西国法論』を出版した。

スマイルズの『西国立志編』やJ.S.ミルの『自由之理』を翻訳して個人主義道徳を説き啓蒙主義の普及に努めた。

『国体新論』では「我輩人民も亦た天皇と同じく人類」と述べたが、『人権新説』では天賦人権論を否定して、社会進化論に基づく国権論を主張した。

幕府派遣留学生としてオランダに留学。哲学、理性、主観等の哲学用語を考案し、近代哲学の最初の移植者となった。

問5 下線部(c)に関連して、中江兆民の『三酔人経綸問答』の中で展開された考え方を述べた文として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 15 ](1999年センター本試験)

為政者が人民に権利を恵み与えることはありえないから、人民は為政者から権利を獲得するための闘争をしなくてはならない。

為政者が人民に恵み与えた権利であっても、人民はそれを育てていって、その権利を実質的なものに変えていかななくてはならない。

為政者は人民に権利を恵み与えるべきであり、また一方、人民はそれを大切に守り、自己の義務を果たしていかななくてはならない。

為政者は人面に恵み与えた権利を実質的なものにしていくために、国家主義的な教育を進め、人民を啓蒙していかななくてはならない。

問6 下線部(c)に関して、自由民権運動家、植木枝盛の言葉として最も適当なものを、下の ~ のうちから一つ選べ。[ 16 ]

そもそも国とは人民の集まるところのものにして、決して政府によってできたものでもなく、君によって立ったものでもない。国は全く人民によってできたものじゃ。

我々は一斉に起ってまずこの時代閉塞の現状に宣戦しなければならぬ。自然主義を捨て、盲目的反抗と元祿の回顧とをやめて全精神を明日の考察 我々自身の時代に対する組織的考察に傾注しなければならないのである。

労働者のことは労働者自身で運動せねばならぬ。議員を介する間接運動ではなくして、労働者自身が直接に運動しよう。

肉体と知能と靈魂、これら三のものをばのびるところまでのびさして行くがため、必要な物資を得ておらぬ者があれば、それらの者はすべてこれを貧乏人と称すべきである。

問7 下線部(d)に関して、儒教的な教育を推進した思想家名として**適当でないもの**を、下の  
～ のうちから一つ選べ。[ 17 ]

植村正久            元田永孚            西村茂樹            井上哲次郎

問8 下線部(e)に関して、日本のナショナリズム思想家と関連するメディアの組み合わせとし  
て最も適当なものを、下の ～ のうちから一つ選べ。[ 18 ]

陸羯南と新聞『万朝報』                            三宅雪嶺と雑誌『日本人』  
平塚らいてうと雑誌『青鞥』                        志賀重昂と雑誌『国民之友』

問9 下線部(f)に関連して、国粋主義者、杉浦重剛による「教育勅語」についての解説として  
最も適当なものを、下の ～ のうちから一つ選べ。[ 19 ]

そもそも国旗なるものは、其の国の威力を表章するものなり。又一朝事ありて、兵馬の  
間に立つときは、軍旗を以て直ちに天皇と仰ぎ奉り、一身を捨てて戦ふべきものとす。

仏教及び基督教の如きは、概して未来の幸福を求めんがために信心するものなれども、  
我が国上下敬神の情は決して此の如きものにあらず。唯子孫として祖先を祭り、以て報本  
反始の誠を致すの他あらざるなり。

太古より今日に至るまで、我が国人が清廉潔白を愛するの情強きは、蓋し誇るべきの一  
美風にして、大和民族の特色の一として数うべきなり。

我が国民は国家の危急に際して義勇奉公の拳に出づるは忠君愛国の至情に発す。一旦緩  
急あらんか、義勇奉公、凜烈たる態度に出で、最後の一人迄も戦う。

問10 下線部(g)に関連して、**ア**国民主義、**イ**浪漫主義、**ウ**平民主義の思想家・作家の組み合  
わせとして最も適当なものを、下の ～ のうちから一つ選べ。[ 20 ]

**ア**陸羯南、**イ**田山花袋、**ウ**徳富蘇峰                            **ア**徳富蘇峰、**イ**田山花袋、**ウ**陸羯南  
**ア**陸羯南、**イ**北村透谷、**ウ**徳富蘇峰                            **ア**徳富蘇峰、**イ**北村透谷、**ウ**陸羯南

問11 下線部(h)に関連して、1904年(明治37年)から始まった日露戦争に反対しなかった  
人物として最も適当なものを、下の ～ のうちから一つ選べ。[ 21 ]

内村鑑三            与謝野晶子            幸徳秋水            森鷗外

問 1 2 下線部(i)に関連して、大正デモクラシーの思想家、吉野作造の思想の記述として最も適切なものを、下の ~ のうちから一つ選べ。[ 22 ](2002 年センター追試より)

民本主義の具体化のため、まず主権者である天皇の権力を制限することが重要であるとし、国民の意向による民定憲法の制定を主張した。

国民が政治的に中立の立場を貫くことが民本主義にとって重要であるとし、国民を主体とした中道勢力による政党政治の実現を主張した。

憲法の規定内で民本主義を貫徹させるには、国民の意思がより反映する普通選挙の実施と政党内閣制の実現が望ましいと主張した。

民本主義をデモクラシーの訳語として把握する限り、国民主権の確立こそが最初に達成すべき政治的な目標であると主張した。

問 1 3 内村鑑三のことばとして**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 23 ]

私共の信仰は国のためでありまして、私どもの愛国心はキリストのためであります。

私は、戦争はキリスト降世二千年後の今日、文明国の間にあるべからざるものと信ずる者であります。

武士道はそのシンボルである桜花と同じく日本の土地に固有の花である。それは今なお我々の間における力と美との活ける対象である。

ほんとうの教会は実は無教会であります。天国には実は教会なるものはないのであります。

問 1 4 下の説明 A・B に該当する人物名として最も適切なものを、次の ~ のうちからそれぞれ一つ選べ。A については [ 24 ] に、B については [ 25 ] に答えよ。

A . 国学の研究法に新しく民俗学の研究法をあわせ、古代から現代に至る日本人の心の伝承をとらえようとした。日本人の神観念のうえに外来神の要素をみだし、それを「まれびと」として位置づけ、さらに「まれびと信仰」に基づく日本文学の発生論を示した。

B . 生物学者、民俗学者。粘菌類などの採集・研究を進める一方、民俗学にも興味を抱き、『十二支考』などを著した。心血を注いで研究した粘菌類は森林の中に生息する小生物であるが、明治政府の進めた神社合祀によって小集落の鎮守の森が破壊されることを憂い、1907 年から数年間にわたって激しい神社合祀反対運動を起こす。これが後の自然保護運動のはしりとして再評価されている。

柳田国男

南方熊楠

折口信夫

和辻哲郎

第3問 次の文章を読み下の問い(問1～問13)に答えよ。(配点30)

西ヨーロッパ中世の時代は、[ 26 ] 哲学が、神を頂点として、神と人間、霊魂と肉体、また信仰と理性とを上下の關係に秩序づけ統一していた。これは、当時の封建的な身分制度とローマ・カトリック教会のヒエラルキーが、個人を支配し、階級的に秩序づけていたことと対応している。しかし、中世も末期にさしかかると教皇権の衰退や黒死病の流行、レバント貿易などによる都市の隆盛など、中世的秩序を脅かす出来事が生じた。また、(a)オッカムのように教皇の立場の誤りを指摘する者もあらわれるようになった。

(b)イタリア・ルネサンスは14世紀、フィレンツェなどの政治的自治権と経済的蓄積をもった都市に始まった、古典文化の復興運動である。これを(c)人文主義ともよぶ。当時の人々が古典の中に見いだしたのは、教会の伝統的権威や従来への慣習に束縛されず、宇宙の神秘を探究しようとする活動的な人間像だった。このルネサンス運動は、[ 27 ] 主義やヘルメス主義の神秘思想から影響を受けていた。これらの思想は、自然の中に神の存在を見いだそうとする汎神論的傾向をもち、人間の本性の内部にも神的な性質がひそんでいると説く。(d)ルネサンスの芸術は、人体の優雅な姿を描くとともにその背後に神秘的な雰囲気を漂わせているが、これはその自然観・人間観の影響である。

また、ルネサンスは自然の発見の時代でもあった。17世紀を科学革命の時代とよぶ場合もあるが、この時代は中世的な宇宙観にかわって (e)科学的な宇宙観が確立されるようになった。ただし、当時の自然学者たちは単純な合理主義者ではなく、神秘的直感と合理的思考の共存から生まれたものである。

アウグスティヌス以来、キリスト教では人が神の恩寵と救済に至るためには教会の媒介が必要であるとされていた。これに対して宗教改革は、個人としての自己の内面を見つめることによって、中世的な教会の権威からの解放をめざすものであった。1517年[ 28 ] をきっかけに、ローマ教皇の贖宥状の販売に反対した (f)マルチン・ルターはたちまちドイツに、ヨーロッパに広がった。

ルネサンスに始まる新しい自然観は、経験論と合理論の二つの近代哲学の流れを生み出した。学問と思想の再構築をめざした(g)デカルトは後に合理論の祖と呼ばれた。

問1 文中の[ 26 ]～[ 28 ]に入れるのに最も適当なものを、次の～のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

[ 26 ] スコラ 観念論 唯物論 教父

[ 27 ] ストア 自然 ロマン 新プラトン

[ 28 ] キリスト教綱要 キリスト者の自由  
95カ条の論題 ローマ信徒への手紙



問2 下線部(a)に関して、ウィリアム・オッカムの思想の説明として最も適当なものを、次の  
～ のうちから一つ選べ。[ 29 ]

唯名論の立場に立つとともに、神学と哲学を分離させ、自然を説明するときには複雑な説明よりも単純な説明の方がよいと考えた。

ドイツ神秘主義の立場から、神の本質との完全なる合一をめざすとともに、魂における神の誕生を論じた。

有限者においてはさまざまな区別や対立が見いだされるが、無限なる神においてそれらはすべて一致するとして、個体の重要視、数学・科学的研究の強調、世界はある意味で無限であるとする自然観を説いた。

恩寵の光にもとづく信仰の真理と、自然の光にもとづく理性の真理を明確に区別しながら、信仰の優位を説きつつ調和させた。

問3 下線部(b)に関して、次の文はブルクハルトの『イタリアルネサンスの文化』からの引用である。文脈から考えて文中の空欄 [ A ] に入る言葉として最も適当なものを、次の  
～ のうちから一つ選べ。[ 30 ]

ルネサンスの文化は、はじめて [ A ] の完全な内実をそっくりそのまま発見して、それを明るみに出すことによって、世界の発見にさらに大きな功績を加える。まずこの時代は、個人主義を最も強力に発展させる。ついでそれは個人主義をあらゆる段階における個性のもっとも熱心な、もっとも多面的な認識にみちびく。人格の発展は、主として自己及び他人における人格の認識に結びついている。この二つの大きな現象の間に、我々が古代文学の影響を与えなければならなかったのは、個性的なものならびに普遍的に [ A ] 的なものの認識と描写の仕方が本質的にこの媒体によって色づけられ規定されるからである。しかし認識の力は、時代と国民の中にあつたのである。

再 生          人 間          古 典          自 然

問4 下線部(c)に関して、人文主義の父と呼ばれるペトルルカについて説明として最も適当なものを、次の  
～ のうちから一つ選べ。[ 31 ]

キケロやアウグスティヌスなどの古典研究に没頭し、キリスト教と古代ローマ文化の調和・統一をめざした。

自己の能力を最大限に発揮すれば何事でも成し遂げられるという確信から「人は欲しさえすれば、自分の力で何でもできる」と語った。

少年の頃であった少女ベアトリーチェに対して生涯にわたる精神的な恋をいだし、それを宗教的な愛にまで高めて詩に表現した。

政治を宗教や道徳から切り離し、現実に立脚してイタリア統一国家を目指すための方策を論じた。

問5 下線部(d)に関して、ルネサンス芸術家とその作品の組み合わせとして**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 32 ]

ミケランジェロの「最後の審判」      レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」  
ラファエロの「アテネの学堂」      ボッティチェリの「ミロのヴィーナス」

問6 人文主義者ピコ＝デラ＝ミランドラについての説明として**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 33 ]

ユダヤ教のカバラの神秘思想やヘルメス主義、新プラトン主義の思想などからキリスト教をとらえなおした。

人間のみが、自らの自由な意志によって自分の欲するところの者となるように神によって定められているとした。

人間の究極の目的は、自然の秘密を知り、大宇宙の創造者である神と一致することであるととした。

全ての宗教的信仰を否定し、自由意志を持った人間が世界の中心であり、自然の支配者であるとした。

問7 下線部(e)に関して、次の宇宙観を述べた人物として最も適当なものを、下の ~ のうちから一つ選べ。[ 34 ]

「哲学は最も偉大な書物      宇宙の中に書かれている。それは数学の言葉で書かれている」

フィチーノ      ガリレイ      ブルーノ      ケプラー

問8 コペルニクスの著作として最も適当なものを、下の ~ のうちから一つ選べ。[ 35 ]

天文対話      無限、宇宙と諸世界について  
星界の報告      天球の回転について

問9 アイザック・ニュートンの研究についての説明として**適当でないもの**を、下の ~ のうちから一つ選べ。[ 36 ]

科学研究の対象が機械論哲学から出発しながら、錬金術研究に向かった。

二つの物体の中心の間に働く引力は距離の二乗に反比例するという法則を発見した。

質量が時空間を歪ませることによって重力が生じることを発見した。

白色光が屈折率の異なる多くの色からなる複合物であることを発見した。

問10 下線部(f)に関して、ルターの主張をあらわすものとして**適当でないもの**を、下の ~ のうちから一つ選べ。[ 37 ]

エキュメニズム      聖書主義      福音主義      信仰義認説

問 1 1 カルヴァンの「予定説」の記述として最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[ 38 ](1994 年センター本試験)

救われるものと救われないものとの区別は、人間の行いによって決まるのではなく、神によってあらかじめ決められている。

神はあらかじめすべての人間に救いをもたらすことを約束しており、救いとこの世での倫理的生活とは無関係である。

恩寵を受けて救われるものとそうでないものとの区別は、この世での行為の善悪に応じて、神が決定するものである。

人間の行為は、自由な決定によるように見えても、すべてはあらかじめ自然の必然性によって決定されている。

問 1 2 プロテスタントの教義上 現世における成功は神の加護の証であるということになり、プロテスタントは与えられた仕事を天職のように考えてそれに打ち込むことで自分が神に救われる者のひとりである証を確認しようとしたという心理から、プロテスタントが労働者としては合理的に効率性、生産性向上を追求する傾向を持っていたことを指摘した人物として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 39 ]

ホイジンガ          ミシュレ          マックス・ウェーバー          レヴィン

問 1 3 下線部(g)に関連して、デカルトや合理論の思想家たちが重視した思考法の一つに演繹法がある。演繹法の例として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 40 ] (2003 年センター追試験より)

昨日いところにもらったおみやげの饅頭はすごくまずかった。「名物にうまいものなし」って言うけど、本当だ。

嘘つきはスネオでしょ。スネオとノビタのうち一人が嘘つきで、ノビタは嘘をついていないんだから。

猫って「お座り」しない動物だと思うよ。今まで何匹も猫を飼ったけど、どれも「お座り」しなかったもの。

今日の昼に電話をかけたけど、彼はいなかったわ。確か明日は試験だから、きっと図書館に行ったのね。

第4問 次の文章を読み下の問い(問1～問9)に答えよ。(配点20)

合理論哲学の創始者はデカルトである。彼は人間の理性を信頼し、われわれが理性的に確実なものから確実なものへと推理を行ってゆけば、絶対に真理を認識しようと考えたのであった。こうして (a)デカルトはまずあらゆることを疑って、もはやどうしても疑えない確実な真理として「われ思う、故にわれ在り」ということを打ち立て、そこからはじめに神の存在、さらに物体の存在ということも推理によって確実な真理として演繹されると考えた。このようなデカルトの合理論哲学は、理性的に認められるもののみを信頼するという近代精神をもっともよく示しているといえるであろう。デカルトの後を継いで合理論のうちに数え入れられる人々としては、その名著『エチカ』を幾何学的秩序に従って論証しようとした (b)スピノザ、機械論的自然観と宗教的な目的観とを [ 41 ] しようとした (c)ライプニッツ、ライプニッツの哲学を基調としながら、徹底した合理主義的立場にたつて包括的な体系をつくりあげたドイツ啓蒙主義の哲学者ウォルフなどがある。

合理論に対して経験論の哲学は、人間の認識において経験というものの果たす役割を重視する。この点で経験論は合理論とまったく対立するのである。経験論によれば、われわれの認識が経験の助けを借りないでは成立しない以上、合理論のように経験を無視して理性的認識のみに頼ることは、まったく不可能であるというのである。しかしこのような経験論の哲学も、人間の経験によって確かめられるもののみを認めようとする点で、合理論とは違った意味においてではあるが、やはり人間の立場を重んじるという近代の精神を表明しているとみることができよう。

すでに (d)フランシス・ベーコンは [ 42 ] という立場から自然の研究をすべきであると主張し、自然研究における帰納法の重要性を力説した点で、また、ホブズも機械論的自然観を絶対と考え、精神的なものをも同じく機械論的に説明しようとした点で、いずれも経験論的立場にたっているが、真に経験論の哲学の基礎を置いたのは (e)ロックである。ロックは、人間の認識はすべて感覚と反省という2種類の経験から生ずるものであり、この経験によってわれわれの心に単純観念が与えられる。そしてわれわれのもっているいかに複雑な観念といえども、その起源を探ってゆけば、すべてこの単純観念に分解しうるのであり、すなわちそれは単純観念の結合によって生じた複合観念にほかならない、と考えた。このようなロックの立場はバークリー、ヒュームらによって展開されたが、とくに (f)ヒュームは経験論的立場を徹底し、懐疑論的傾向を示している。

問1 文中の空欄 [ 41 ] [ 42 ] に入る最も適当な言葉を、次の ~ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- |        |    |                   |    |    |
|--------|----|-------------------|----|----|
| [ 41 ] | 終焉 | 選択                | 分離 | 調和 |
| [ 42 ] | ⎧  | 自然環境に適応したものが生存できる |    |    |
|        |    | 自然法則に従うことは他律的である  |    |    |
|        |    | 神はすなわち自然である       |    |    |
|        |    | 自然は服従しなければ征服されない  |    |    |

問2 下線部(a)に関連して、道徳についてのデカルトの考え方として**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 43 ](1999年センター本試験より)

情念とは精神の受動的な状態のことであって、情念を統御するところに徳がある。

善と悪の根拠を明晰かつ判明に認識するまでは、行為についてのどのような判断も下すべきではない。

真偽を弁別する能力である良識は、すべての人に平等に賦与されたものである。

神の善性は懐疑をとおして認識される真理であり、この真理の認識が善い生き方にとって必要である。

問3 下線部(b)に関連して、スピノザの思想の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 44 ]

万物は神的実体自身の変状ないし様態として神のうちにあり、また神はすべてのものの原因である。

言葉がアルファベットで成り立っているように、自然は永遠普遍的単純本性で構成され、この形相を見出すことこそ学問のなすべき仕事である。

自然のいたるところに神々が存在し、そのような霊的存在を崇拝することが除災招福を導く。

永遠普遍的完全なるものの世界が、現象の世界を超えて存在し、一切の存在の流出の根源が一なる神である。

問4 下線部(c)に関連して、ライプニッツの思想の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 45 ](1996年センター追試改題)

自然を構成するのは、広い意味での魂に他ならないモナドである。

自然現象は、火・気・水・土の四元素の混合分離に他ならない。

自然物はすべて、自らの目的を実現するために運動する。

自然は、形と大きさをもつ物体及び物体間の因果作用からなる。

問5 下線部(d)に関連して、フランシス・ベーコンのとなえる、洞窟のイドラの説明の具体的な例として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 46 ]

自分の家では12月25日を過ぎると、すぐに正月の準備を始めるので、隣の家が、年を越してもモクリスマスの装飾を外さないのはだらしのないのだと思う。

夜中の12時ちょうどに2枚の鏡を向かい合わせてその中をのぞくと、鏡の中に自分の背後霊がいるという話を聞いて、絶対に夜中に鏡を見ないようにしようと思う。

昨夜テレビで、緑茶のカテキンが風邪のウイルスを殺す働きがあると言っていたので、間違いあるまいと思い、今朝からお茶で手を洗っている。

どうやって見ても、太陽が地球の周りを回っているようにしか見えない。どうして人間は丸い地球から落ちないのか不思議だ。

問6 下線部(e)に関連して、ジョン・ロックの考え方の記述として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 47 ](2002年センター本試験改題)

人間の精神は、身体とは独立に存在しうることが証明できるものであって、世界の体系的認識の出発点となる。

人間の精神は、何も文字が記されていない白紙のようなものなので、知識の材料となる観念は経験によって獲得される。

人間の精神は、感覚に囚われることなく、かつて見ていた真実在を想起することによって真の知識を獲得できる。

人間の精神は、生活に役立つ知識を獲得するために、先入観を排除して自然を観察する必要がある。

問7 下線部(f)に関して、ヒュームの考え方の説明として**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 48 ]

因果律を否定し、因果関係に見えるものは「恒常的接続」という関係であるとした。

懐疑によって独断のまどろみが破られ、人間理性の能力の限界の確定を行おうとした。

自我さえも実体ではなく「知覚の束」にすぎないものと考えた。

人間は知覚された経験を超えては何も知ることはできないと考えた。

問8 デカルトへの批判者としての、パスカルの言葉として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 49 ]

彼はその全哲学の中で、できることなら神なしですませたいと思っただろう。

哲学の対象は物体ではなく、人間も快を求め苦を避ける欲求が意志を決定するのである。

彼の思想は「あれもこれも」欲しがらばかりだが、「あれかこれか」の選択が肝心なのだ。

人間のみが自由意志を持つのではなく、人間以外の動物にも精神が存在する。

問9 フランスのモラリスト、モンテーニュの説明として**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 50 ](2004年センター追試より)

モンテーニュは、思想の体系化を図らず、日々の思索を随筆のかたちで丹念につづった。

モンテーニュは、ギリシアやローマの賢人たちに倣ってよりよく生きるための方策を求めた。

モンテーニュは、鋭い人間観察に基づいて、人間の生き方を独自の視点から探求した。

モンテーニュは、神への信仰を否定し、地上の生活に積極的な意義を見出して、多彩な能力を発揮した。

問題は以上です。